

校長名 小野 誠一

学級数 3
(内特別支援 0)

生徒数 19

教職員数 男 5
女 6 計 11

〈学校の教育目標〉 自ら求め考え、認め響き合って、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

〈めざす生徒像〉

自ら考える生徒 心やさしい生徒 粘り強くやりぬく生徒

〈めざす教師像〉

信頼され、優れた指導力をもった教師

〈めざす学校像〉

豊かな自然の中で学び、つなぎ、つなげて、一人ひとりが主人公になれる学校

〈重点目標と重点項目〉

- ◎ 自ら考える生徒をめざして
 - 「ひうら学びのすすめ」を基盤とした習慣力の育成
 - スパイラル学習を取り入れた基礎・基本の確実な定着
- 生きる**
「矢口」⇒ 個に応じ、よさを伸ばす学習指導の充実と評価の工夫・改善
- 体験的・問題解決的な学習を重視し、自ら学ぶ力を育てる指導の充実
- 情報社会に対応する情報活用能力の育成
- ◎ 心やさしい生徒をめざして
 - 「生活五訓」を柱とした日浦教育の推進とよりよい生き方をめざす生徒の育成
- 豊かな**
「行志」⇒ 一人ひとりのよさを認め合い、支え合う人権教育の推進
- 奉仕・体験活動等を通じた、縦割り班活動の充実と思いやりの心の育成
- 心を耕す読書活動の充実と豊かな表現力の育成
- 音楽が山なみに響く学校づくり
- ◎ 粘り強くやりぬく生徒をめざして
 - 基本的な生活習慣の定着と自己管理能力の育成
- 健やかな**
「体」⇒ 「ひうら体育」推進と家庭・地域社会・関係諸機関との連携
- 目標をもち、向上しようとする意欲・態度の育成
- 部活動の充実と推進

教育環境の整備・言語活動の充実

家庭・地域社会との連携・融合

一人一人を生かす積極的な生徒指導の推進

小中一貫をめざす教育の推進

地域と共に歩む、開かれた特色ある学校づくり

生涯学習の基盤づくりと学校評価の充実

＜管理運営＞

◇ 人的管理（ぬくもりと高め合いのある人間関係）

- 信頼と相互理解によって互いに支え合い、高め合う明るく活気のある職場づくりに努める。
- 実践的指導力の充実と人間的魅力を高める現職教育研修の充実を図る。
- 常に危機管理意識をもち、必要に応じて役割の補完をしながら、「チーム日浦」として即動する組織体制の確立を図るとともに、安心・安全な環境づくりに努める。
- サービスの厳正に努め、心身の健康管理に留意し、報告・連絡・相談・見届け（ホウレンソウミ）体制の確立を図る。

◇ 物的管理（心をはぐくむ教育環境）

- 潤いのある教育環境の整備・充実に努める。
- 施設・設備・備品等の計画的な整備、充実とその効果的な活用に努める。
- 潜在危険箇所の除去と防災・防火・防犯の徹底に努める。

◇ 事務管理（正確・迅速・適正）

- 校務分掌の適正化と経理事務・金銭出納管理の厳正化に努める。
- 文書・表簿・個人情報等の管理保管と適切な活用に努め、情報公開に対応する。
- 学校間ネットワークの活用を図り、事務等の省力化、効率化に努める。

＜本校教育の継承と展開＞

豊かな自然に恵まれた本校の生徒は、全般的に素朴で温厚である。生徒数は、過疎化の中で急激に減少したが、平成15年度より通学区域の弾力化によって、松山市全域から生徒を受け入れ、生徒数の確保に努めている。地域・保護者の教育に対する関心は高く、日浦で学ぶ子どもたちの教育活動に協力的である。子どもたちを主人公とし、学校と地域が一体となった『日浦教育』を進めている。山紫水明の理想的な教育環境の中ではぐくまれてきた伝統を継承するとともに、いっそう家庭・地域社会との連携を深め、日浦小中一貫教育を推進していきたい。

- 1 生徒のもてる力を伸ばし、「ふるさと日浦小中」で学んだことに自信と誇りをもって、たくましく生きる力を育成する。
- 2 地域の伝統的技術である炭焼き、学校林の育成、ホテルやヒメユリの保護活動、日浦緑の少年団活動や自然体験学習などを通して、自然に親しみ、自然を愛し、自然と共に生きる共生の心を育てる。
- 3 「ひうらコミュニティ」としての家庭・地域社会との連携を深め、社会の一員としての自覚や奉仕の精神を培う。